

秋田県立支援学校 天王みどり学園

令和6年度公開研究会 12月5日(木)

主体的に学びに向かう姿を育てる授業づくり ～教師による子どもの「見取り」に焦点を当てて～ (2年次／2年計画)

本研究では、教師の児童生徒を「見取る力」を高め、見取ったことを単元構想や授業づくり、指導の在り方へフィードバックし、チームで児童生徒が主体的に学びに向かう姿を育てる授業づくりを目指しています。

教師が児童生徒を多面的・多角的な視点から、多様な手段で見取り、見取ったそれぞれの解釈をチームで共有して「授業づくりのポイント」を基にした授業を行うことで、児童生徒が主体的に学びに向かい、一人一人が自分らしく輝く姿が見られると考え、本主題を設定しました。



小学部4年 生活単元学習 「できるんジャー!やるんジャー!」 ～クリスマス会でピザを作ろう～

ピザづくりを活動の中心とし、タブレット端末を使用した学習や調理活動、アンケート調査などを行っています。本時はアンケートを基にピザを試食します。新たな食材に出会い、思わず溢れ出す「気持ち」や「言動」など、子どもたちの自由な表現を拾い上げながら主体的に学びに向かう姿を育てる授業を行います。

【授業者】

T1渡辺 舞子、T2小玉美貴子

【指導助言者】

秋田県総合教育センター
主任指導主事 島津 憲司氏



中学部1年 生活単元学習 「潟上ツアーズ」 ～潟上の魅力を伝えよう～

学校がある追分地区の魅力を伝えるために、グルメマップの制作に向けて飲食店のアンケート調査やインタビュー取材を行っています。本時は取材した情報を記録したり編集したりします。調べたことや感じたことの表現・発信の方法を工夫するなかで、主体的に学びに向かう姿を育てる授業を行います。

【授業者】

T1小松 良平、T2伊岡森真由
T3大高梨沙子、T4信太 涉
T5浅利 節子、T6兜森 宏征

【指導助言者】

秋田県総合教育センター
指導主事 高橋亜希子氏



高等部木工班 作業学習 「センター販売にむけて」 ～秋田杉の箸とデザイン箸の製作～

総合教育センターでの作業学習製品販売会を目指し、秋田杉の箸と生徒たちがデザインしたデザイン箸を製作します。本時は一人一人が各工程の注意点に気を付け、製品の仕上がりを自分で確認しながら良い製品を作るなど、主体的に学びに向かう姿を育てる授業を行います。

【授業者】

T1熊地 勇太、T2佐々木憲一
T3加藤 麻美、T4石井 悟

【指導助言者】

秋田県総合教育センター
指導主事 進藤 拓歩氏

日程

9:00 ～ 9:15 (15)	9:20 ～ 9:50 (30)	10:00 ～ 10:50 小 (45) 中・高 (50)	11:10 ～ 11:30 (20)	11:40 ～ 12:40 (60)	12:40 ～ 14:00 (80)	(15)	14:15 ～ 15:45 (90)
受付	全体会 全体研究説明	提示授業	分科会Ⅰ 学部研究説明	昼食 休憩	分科会Ⅱ 授業説明 研究協議説明 研究協議 指導助言	移動	講演 金沢星稜大学 講師：柳川公三子

講演

なぜ、子どもの「内面」を見取るのか？ —「令和の日本型学校教育」の構築を目指して—



金沢星稜大学
講師 柳川公三子氏

経歴

富山県立高岡支援学校、富山大学人間発達科学部附属特別支援学校、富山県立総合支援学校での勤務を経て2022年より現職。日本特殊教育学会、日本教師学学会、日本発達心理学会で「子どもの学びの過程を大切にしたい校内研究の在り方」、「教師の学び合いについて」など、多くの研究発表を行うと同時に、全国各地で御講演されております。

本校では6月、「今、求められる授業研究の在り方」と題して職員研修を行い、「子どもの姿（事実）」と「自身の解釈」を分けて捉え、その「解釈」を教員間で共有することや視点を焦点化することの重要性を学ぶ機会をもつことができました。

当日は、子どもの見取りの重要性とチームで取り組む授業づくり、見取りを基にした授業改善のポイントなどについて御講演いただきます。

申込について

こちらのQRコードまたは URLからお申し込みください

- ・締め切りは10月31日（木）です。
- ・部分参加や昼食の注文も可能です。



<https://qr.paps.jp/PhQrk>

本校までの アクセス



お問合せ先 秋田県立支援学校天王みどり学園
電話 018-870-4611 F A X 018-870-4612
H P <http://www.midori-s.akita-pref.ed.jp>
E-Mail midori-s@akita-pref.ed.jp
教 頭 佐 川 透 研究主任 相 原 淳

本校HPは
こちらからどうぞ

